

2020年の国際石炭情勢の展望と課題

一般財団法人日本エネルギー経済研究所

化石エネルギー・国際協力ユニット

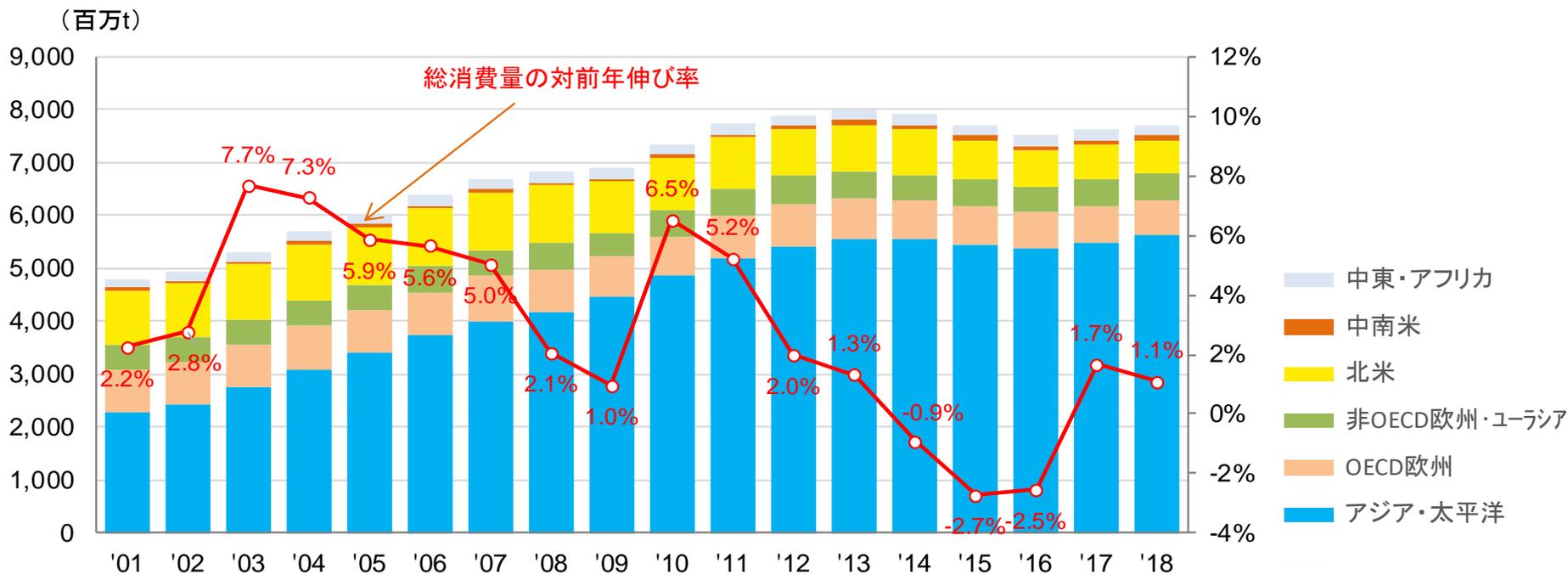
佐川 篤男

- ✓ 世界の石炭消費、石炭輸入は、2020年に向けてもインド、アセアン等アジアを中心に増加が見込まれる。
- ✓ 2019年の石炭スポット価格は、一般炭、原料炭ともに大きく下落。その後、横這いから緩やかな上昇で推移している。足元、
 - ✓ 一般炭スポット価格（豪州ニューキャッスル港出しFOB価格）は67ドル/トン前後
 - ✓ 原料炭スポット価格（豪州高品位強粘結炭FOB価格）は135ドル/トン強
- ✓ 2020年の一般炭スポット価格は、70ドル/トン軸に季節要因に変動すると予測、原料炭スポット価格は140～150ドル/トン台と予測。

世界の石炭消費

- 世界の石炭消費は、2017年以降で再び増加。
- アジア・太平洋を中心に増加する一方で、OECD欧州と北米では引き続き減少。
- 2020年に向けて石炭消費量は、インド、アセアンなどアジアを中心に増加が見込まれる。

地域別の石炭消費量の推移



注： 2018年は暫定値
出所： IEA Coal Information 2019

世界の石炭貿易

- 世界の石炭貿易は、2015年に大きく減少し、その後再び増加。
- 一般炭は漸増傾向、原料炭は2017年まで増加後、2018年は横ばい。
- 2019年に入り増加率が低下しているものの、2020年に向けて石炭貿易量は、一般炭、原料炭ともに増加が見込まれる。

炭種別の石炭貿易量の推移

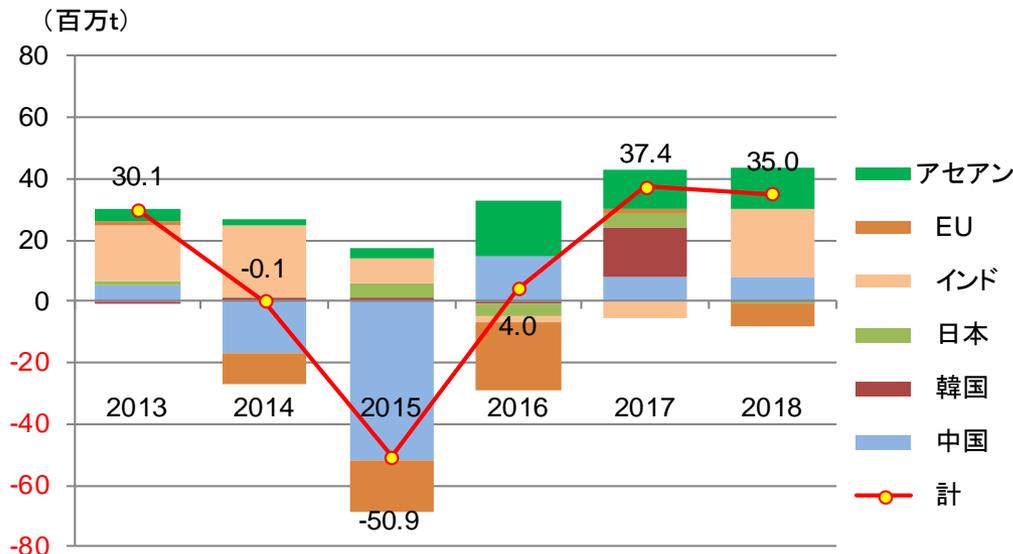


注： 貿易量は輸入量、2018年は暫定値
 出所： IEA Coal Information 2019

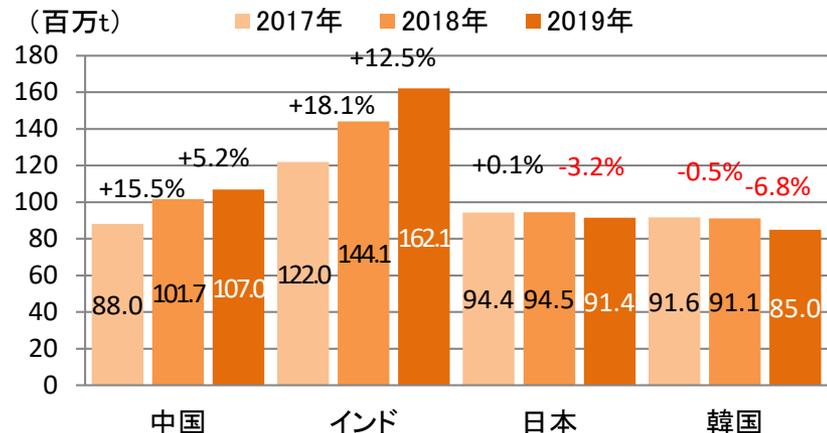
主要輸入国（地域）の一般炭輸入

- 中国：2016年以降再び増加（左図）。2019年に入り伸び率は低下（右図）。
- インド：2018年に2,260万トン増加し、2019年に入っても増加を維持。
- 韓国：2017年に1,650万トン増加したが、2019年に入り減少。
- 日本：2017年に過去最高の1.14億トンを輸入したが、2019年は減少。
- アセアンは2016年以降で毎年1,000万トン超の増加。2019年も増加は継続。
- 一方で、EUは2013年以降で減少。2019年も減少は継続。

対前年比の輸入量増減



アジア主要輸入国の輸入量 (1-10月)



注： アセアンは、タイ、マレーシア、ベトナム、フィリピン
 EUの2018年はIEEJ推定
 出所： 各国貿易統計、TEXレポート、EUROSTAT

出所： 各国貿易統計、TEXレポート

中国とインドの月別一般炭輸入量

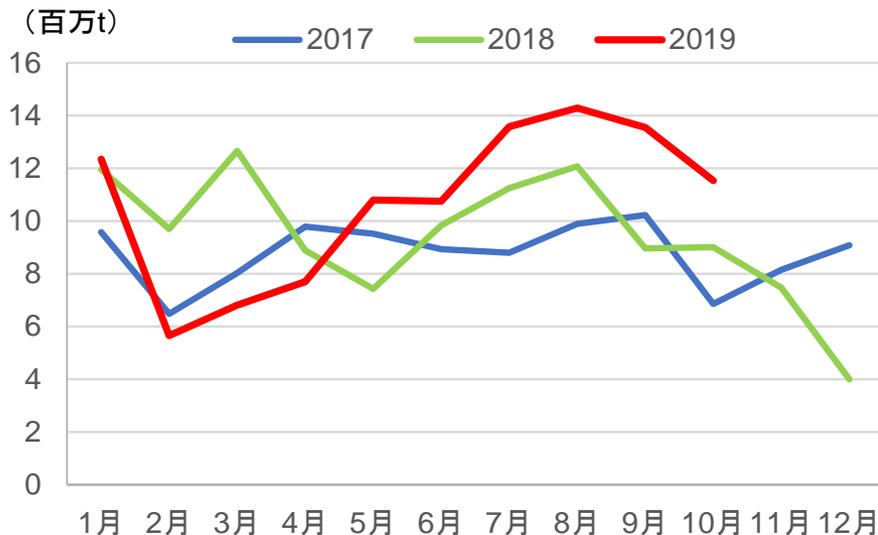
中国

- 2019年の輸入量は、2月、3月、4月と前年を下回ったが、その後、上回って推移。1-10月計で対前年同期比525万トンの増。

インド

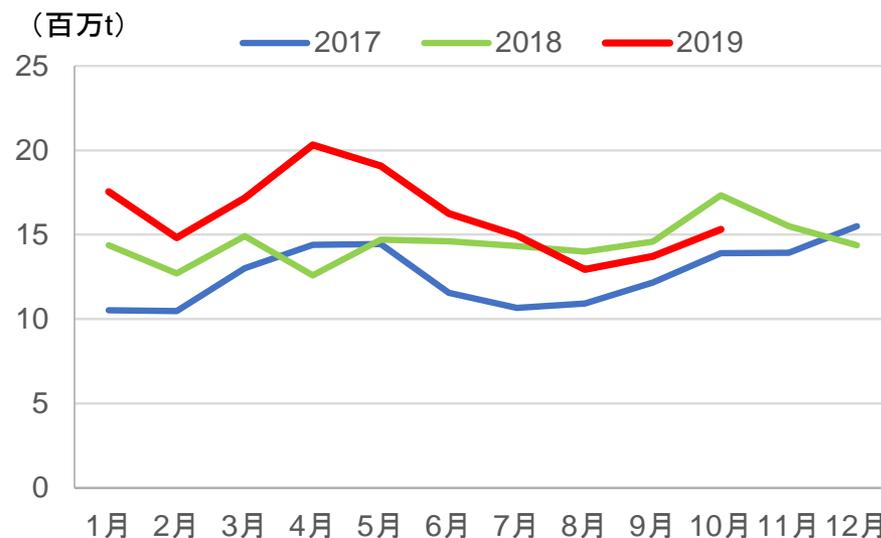
- 1月から前年を上回って推移したが、8月以降は前年を下回って推移。
- 1-10月計では1億6,213万トンを入力（対前年同期比1,800万トンの増）。

中国



出所：TEXレポート

インド

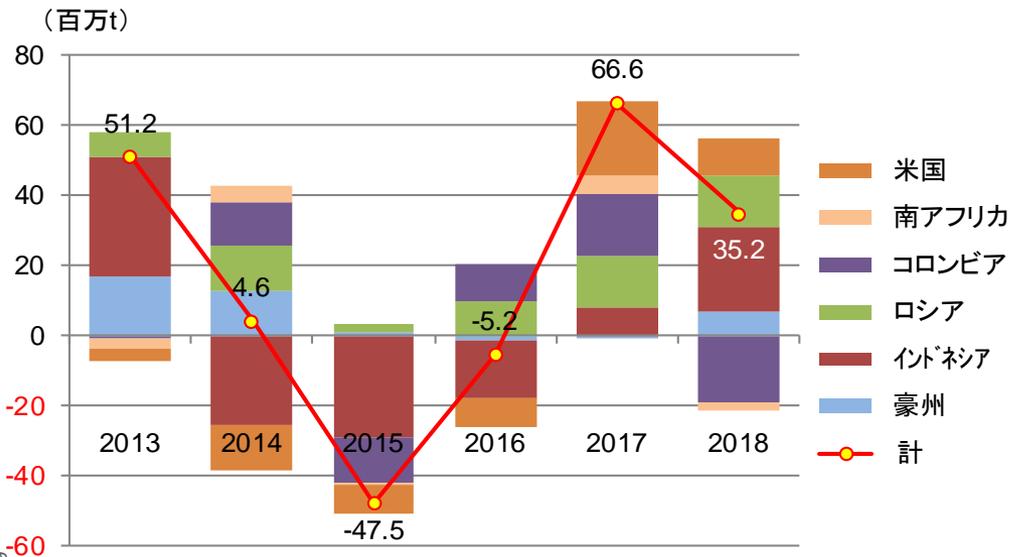


出所：インド貿易統計

主要輸出国の一般炭輸出

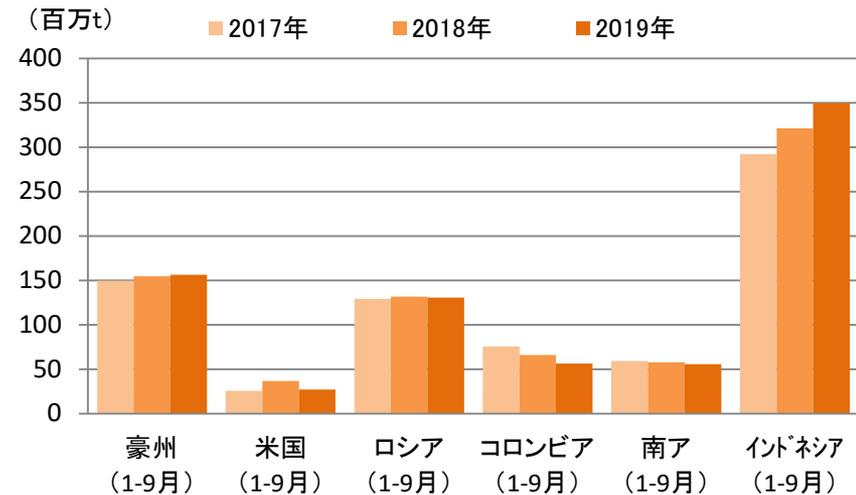
- インドネシアは、2014年から3年連続で減少したが、2017年以降、再び増加。
- ロシアは、2016年以降で増加し、米国も2017年以降で増加。
- コロンビアは、2016,17年と増加したが、2018年は減少。
- 2019年、インドネシア、豪州は対前年同期比で増加。一方で、米国、コロンビアで減少。

対前年比の輸出量増減



出所：TEXレポート

主要国の一般炭輸出量

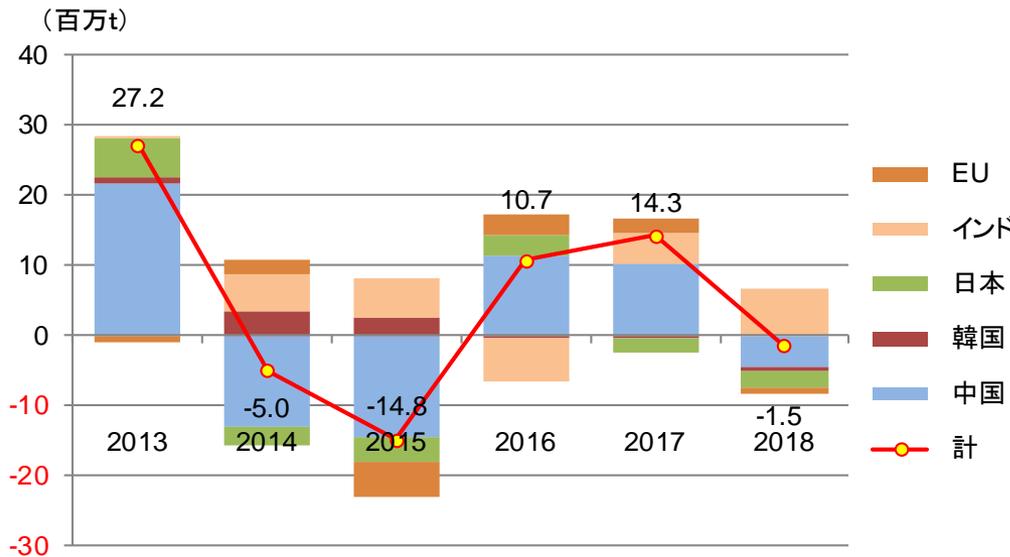


出所：TEXレポート、IHS他

主要輸入国（地域）の原料炭輸入

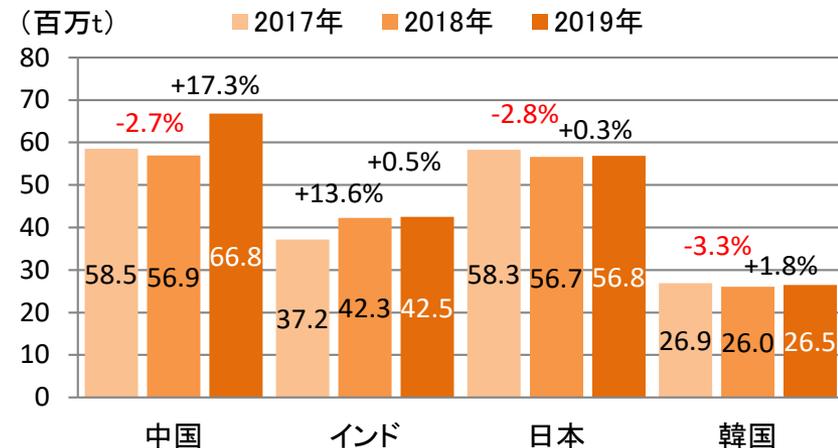
- 中国は、2014,15年と減少したが、2016,17年と増加し、2018年は再び減少。
- インドは、2016年に減少したが、2017,18年と増加。
- 2019年に入り、中国で大きく増加している一方で、インドの増加は止まり、日本、韓国もほぼ横ばい。

対前年の原料炭輸入量増減



出所：各国貿易統計、TEXレポート、EUROSTAT

アジア主要輸入国の輸入量（1-10月）



出所：各国貿易統計、TEXレポート

中国とインドの月別原料炭輸入量

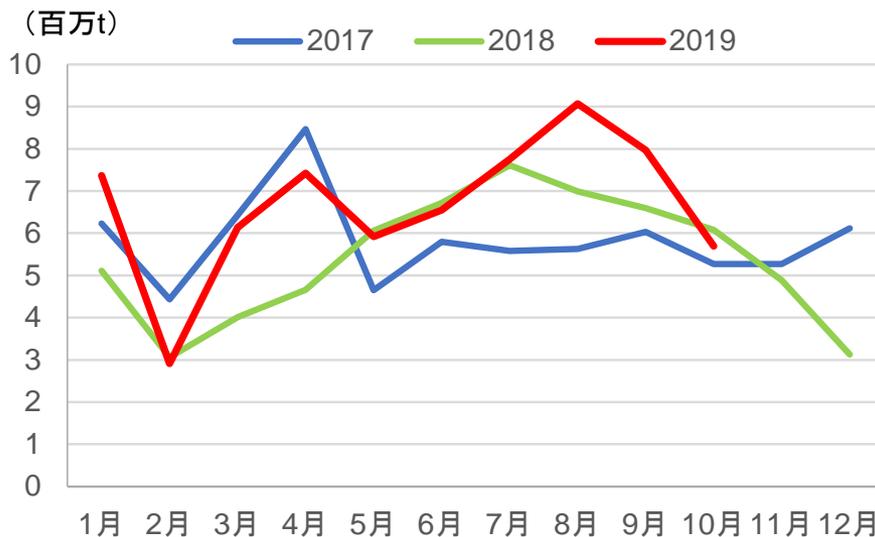
中国

- 2019年の輸入量は、ほぼ、前年を上回って推移。1-10月計で対前年同期比990万トンの増。

インド

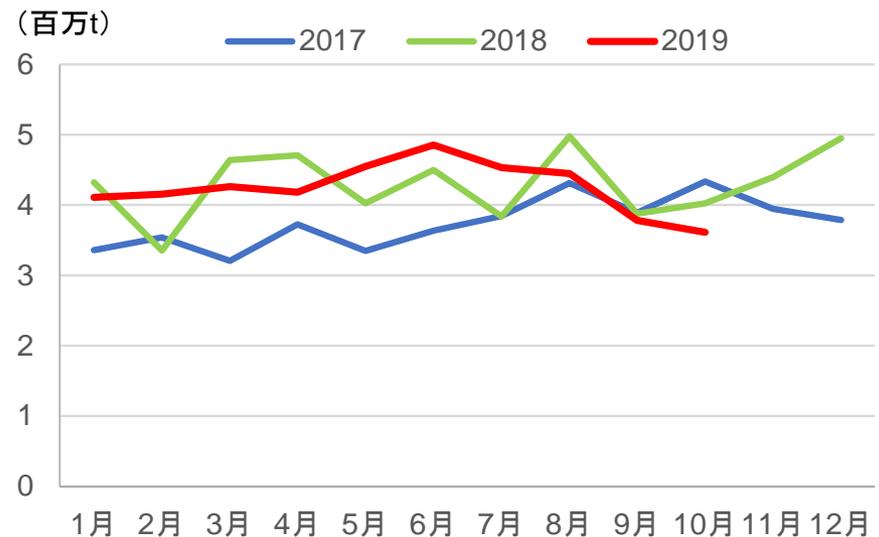
- 2019年の輸入量は、凸凹はあるが前年とほぼ同レベルで推移。1-10月計で対前年同期比21万トンの増。

中国



出所：TEXレポート

インド

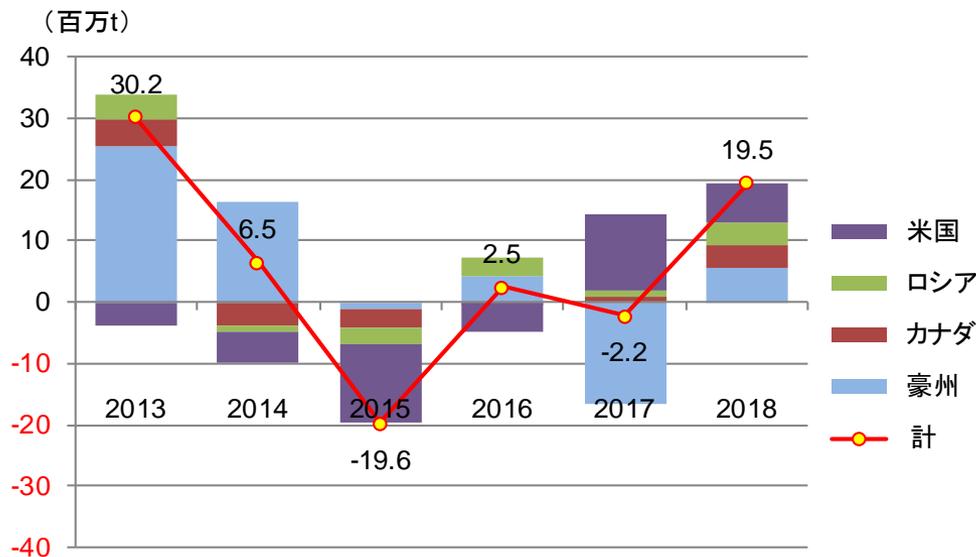


出所：インド貿易統計

主要輸出国の原料炭輸出

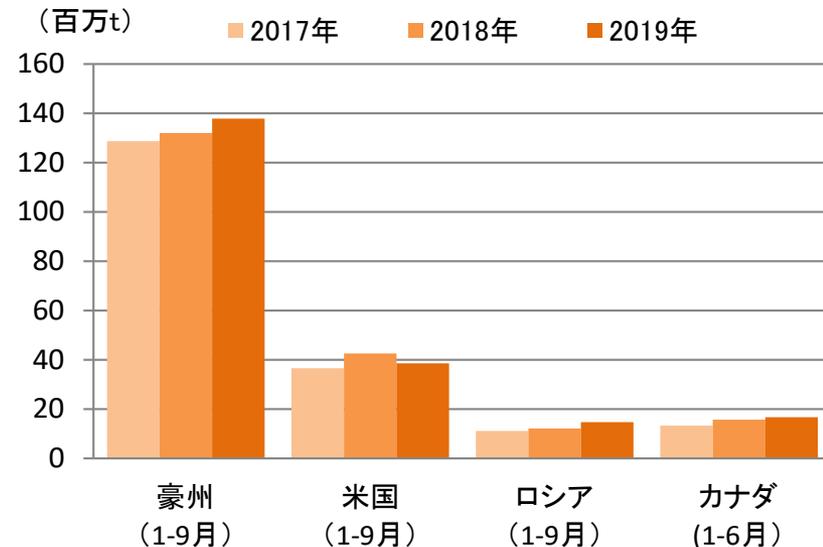
- 豪州は2017年に大きく減少したが、2018年は増加。
- 米国、カナダは2017,18年と増加、ロシアは2016,17,18年と増加。
- 2019年に入り、豪州、ロシア、カナダの輸出量は対前年同期比で増加。一方で米国の輸出量は減少。

対前年の原料炭輸出量増減



出所：TEXレポート

主要国の原料炭輸出量



出所：TEXレポート、IHS他

【一般炭】

- 一般炭の輸入需要は、2020年に入っても増加。
 - ✓ インドでは引き続き消費の拡大に伴い輸入量は増加。
 - ✓ アセアンでは、ベトナム、マレーシア、フィリピンで増加。
 - ✓ 中国では、国際価格が国内炭価格比で割安なことから輸入量は減少しない。ただし、輸入規制は引き続き実施される見通し。
 - ✓ 欧州では、引き続き減少。
- 供給力は確保
 - ✓ 2020年は、豪州、ロシアに加え、コロンビアも供給力に余力。
 - ✓ インドネシアは、政策的に生産にキャップをかけると言われているが、2019年の生産目標は6億トン。2020年に大きく生産量を減じることはない。

【原料炭】

- 原料炭の輸入需要は、鉄鋼需要により左右。
- インドの景気回復に伴い輸入量は増加。
- 中国では、国際価格が国内炭価格比で割安なことから輸入量は減少しない。ただし、輸入規制は引き続き実施される見通し。
- 供給力は確保
 - ✓ 供給側では、豪州、ロシア等で供給力に余裕。
- 低価格により計画が遅れる等、供給力が削がれることが懸念。

2020年の石炭価格

- 一般炭スポット価格（豪州ニューカッスル港出しFOB価格）：
2018年7月の123ドル/トン进行ピークに下落し、2019年8月の62ドル/トンで下げ止まった。足元67ドル/トン前後で推移。
2020年は、70ドル/トンを軸に、主に季節要因により5～10ドル/トンの幅で変動して推移すると予測。
- 原料炭スポット価格（豪州高品位強粘結炭FOB価格）：
2019年5月の210ドル/トンから急落し、9月には130ドル/トンを下回り下げ止まった。一時的に150ドル/トンまで戻したが、足元135ドル/トン強で推移。
2020年は、140～150ドル/トン台で推移すると予測。

一般炭、原料炭の年平均スポット価格

| | 2018年平均 | 2019年 1-10月平均 | 2019年平均 | 2020年平均 |
|-----------|---------|------------------|---------|---------|
| 一般炭スポット価格 | 106.30 | 79.15 | 77 | 70 |
| 原料炭スポット価格 | 207.10 | 184.09 | 176 | 146 |